

## MHC20 周年記念 2009MHC 登山講習 木曾駒ヶ岳・宝剣岳登山 報告

9月12日 AM6:00 参加者11名が、車に乗り合わせ松本を出発。中央高速道を走り、駒ヶ根ICで降り、駒ヶ根高原ロープウェイ専用駐車場で八王子からの2名を加え総勢13名となる。上空は曇天模様。しらび平1660mへ登山バスで行き、ロープウェイに乗り継いで、1000mの標高差を一気に千畳敷カール2600mへ向う。AM9:30 千畳敷へ到着。そこは、麓とは全く違う、冷たい風雨が吹きすさぶ世界だった。



待合コーナーで全員雨具を着用し、視界の効かない雨中に飛び出す。岩場の急坂を小1時間登り続けると、冷風にさらされた乗越浄土へ登り出る。濃霧の中に立つ道標に従い、そのまま平らな稜線を歩くと、AM11:00、雨中の宝剣山荘へ辿り着く。ほっと一息つくが、雨が本格的に降り続き、山荘に沈殿と諦め、泊す。

木曾駒ヶ岳山頂に登頂



宝剣岳岩場に行く

翌13日天候は濃霧。AM6:30 軽荷で山荘を出発、木曾駒ヶ岳を目指す。視界約30~50mの濃い霧に覆われ、絶えず強い西風が吹きつける。岩礫帯を登り下りして、大岩が積み重なった、なだらかな斜面を登りつめると、AM7:30 石道標と祠の建つ木曾駒ヶ岳山頂2956mに登頂する。時折霧が風に飛ばされ、近距離の山稜と白い雲海が覗くが、眺望は期待できず山荘へ引き返す。

山荘でリュックの荷を整理し直し、一息入れてAM9:00 宝剣岳を目指して出発する。視界は広がるが、相変わらず稜線付近に霧雲が覆い、西風が吹きつける。いきなりの岩場の急傾斜面を登り、クサリ場をトラバース気味に辿り登れば、AM9:30 宝剣岳山頂2931mに登頂する。ここから三ノ沢分岐まで急峻な岩場の連続だ。素直なしっかりした岩で、手ごたえ充分?の岩場のアップダウンが、何回も続く。



紅葉?したチングルマ



そして緊張の連続も三ノ沢分岐で終了し、なだらかな稜線に出て、安堵する頃 AM10:30 極楽平へ到着する。「極楽平」名前の由来が身にしみて実感!とする。

AM11:00 千畳敷到着。駅食堂で昼食を摂り、往路と同じルートで、ロープウェイ、登山バスを乗り継ぎ、PM12:45 駒ヶ根高原ロープウェイ専用駐車場へ到着。そこから中央高速道を走り、PM2:00 松本へ帰還、最終解散とした。今度の登山は「岩場の登攀に、自信とおもしろ味を持った!」人もいたことでしょう。